

☞ 水一滴が届くまで ☞

しろま 城間

さら 咲来

水は私たちが生きていくうえでも  
 重要で欠かせないものだと思う。水がなけれ  
 ば人間の生活は回らない。洗濯、トイレ、お  
 風呂。それだけでは足りない。飲むこと、食事に  
 使うことなど人間の体にと。こも、必要だ。  
 日本では水道の蛇口をひねれば美味しくこ  
 きれいで安全な水が出てくる。小さい頃まで  
 はこれが当たり前だと思っ。ていた。しかし、  
 大きくなり外国の方々の話を聞くとこの日本  
 がいかに幸せで素晴らしい国かということが  
 理解できる。コップ一杯の水を飲むために遠  
 いオアシスまで行かなければならない国。オ  
 アシスもなく、雨が降らないと水が飲めない  
 国もある。そして世界で年間何万人という人  
 がこの水が原因で亡くなっている。  
 この現実を目のあたりにした私は、驚いた。  
 すぐこの国が蛇口をひねれば水が出てくる、  
 という事は間違いだと思付き、そしてその後

光塩女子学院初等科六年A組



考えた。この日本にも水を運んでくれたり、水道水を美味しくてかつ安全にしてくれ、人がいるのではないかと。そしてちょうどその頃、学校で「水道キヤラバン」という会が開き、さいされた。水道の事に興味深々だ。私は水道キヤラバンで来てくださった水道局員さん達の話を真剣に聞いた。局員さん達は「水道水がみなさんのお家に届くまでにはたたく山の人達や自然がお手伝いしてくれ、います。」

この言葉を聞いて私は少しの驚きと感謝の気持ちが残った。

驚きとは、「自然」というワードのことだ。

この水道キヤラバンのお話で、この水一滴が届くまでには、全く関係のない山も関係しているという事が分かった。通称「緑のダム」雨で降った水が山を越えきれいになるといふ。この時私は「私達が飲んでいる水は人間のみ力だけではなく、自然の力も借りているんだ。」と知りました。自然への感謝である。



もう一つの感謝とは、お手伝いをしてくれて  
いるたく山の人達へだ。いつも私たちが何  
の不自由もなく水をたく山飲む事ができるのは  
この水道局の人達や水をきれいにしてく下さる  
人、緑のダムを管理してくれ人などはかり  
知れない人数の人達が私達の生活を支えてく  
れている。そう考えると感謝してもしきれな  
いぐらいだと思った。

私はあまり知らない水道の事情についてよ  
く知れたのでとても嬉しかった。この一滴の  
水が届くまでに何千人もの人が協力してく下さ  
っていると考え、無だ使いをせず、一滴  
にも感謝してこれからも水とともに生活して  
いかなければならないと感じた。